



いじめ防止子ども会議

特集 学校を越えて考える「いじめ防止」



ゆうき

おもいやり

きょうりよく

いじめの防止について考える「邑楽町いじめ防止子ども会議」が1月23日、役場で開催されました。いじめ防止子ども会議は、県教育委員会の「いじめ問題対策推進事業」の一環として、県内の各市町村の教育委員会が主催。小中学生を対象に行われるものです。

邑楽町では、町内6小中学校の児童生徒15人が参加。各学校の児童会生徒会の子どもたちが中心となり、いじめ防止のための取り組みについて発表し、町内の2人の高校生が司会進行を務めました。

「いじめ問題対策推進事業」とは、オール群馬で「いじめ防止」の取り組みを行い、児童生徒の自主的ないじめ防止活動を支援するというものです。

昨年6月28日、「いじめ防止フォーラム」(館林市・関東学園大学附属高校)が開催され、邑楽・館林地区の各中学校区を代表して、小中学生と高校生が参加。各校のいじめの実態やいじめ防止活動の計画などについて、活発な情報交換を行いました。

8月18日には、「いじめ防止サミット」(前橋市・群馬会館)が開催され、県内各地区の代表が「いじめ防止宣言」採択を目指して、小学校部会と中学校部会、そして高校生部会に分かれて議論を重ねてきました。



①いじめ防止子ども会議での協議風景 ②③いじめアンケートの結果を踏まえて班別の協議が行われ、活発な意見が交わされました ④学校を越えて「いじめ防止」について真剣に議論が交わされました ⑤今回司会を務めた太田女子高校2年の齊藤らさん、関谷美咲さん(写真左から)

みんなで「いじめ」のことを真剣に考えました。



会議に参加した各小中学校の児童会・生徒会の子どもたち。そして、今回司会を務めた二人の高校生

発表では、各小中学校がその学校ならではの、いじめ防止の取り組みについて活動や成果を発表しました。

中野小学校▼「友達の輪をつくる集会」で、中野小絆認定証の授与を行い、「仲間を信じて輝け中野小」を目指しています。

高島小学校▼コミュニケーションを深めることでいじめ防止につなげようと「あいさつアーチ」を作成。全校で「高島小はいじめ0」を目指しています。

長柄小学校▼6年生全員で「いじめ撲滅宣言」を行い、一人ひとりが考えた自分自身のいじめ撲滅に対する思いを発表しました。

中野東小学校▼やさしいことをしてもらった児童が、そのことを花びらに書き、「花さき山」に貼る活動を展開。やさしさや思いやりの花をたくさん咲かせ、いじめ防止につなげようとしています。

邑楽中学校▼「いじめ防止6ヶ条」を掲げ、いじめられる人を出さないために、生徒一人ひとりがいじめ防止を心掛け、実行してもらえるように継続した活動を行っています。

邑楽南中学校▼いじめ防止のため「相思協力」を呼びかけ、互いに思いやり協力し合うことで、よりよい人間関係を築いていくための活動をしています。

子どもたちは、学校で行っている「いじめ防止」活動を紹介
❶中野小学校の児童（写真左から石島侑佳さん、野沢楓さん、中里泰理さん、大野魁晟さん、一条芽生さん）
❷邑楽南中学校の生徒（写真左から柴田優里さん、神長康允さん）
❸高島小学校5年の木村結依さんは、邑楽町人権作文コンクール入賞作品「いじめに負けないで」を発表しました

いじめ発見のチェックポイント

家庭用

出典▶県教育委員会いじめ対策室(県総合教育センター)

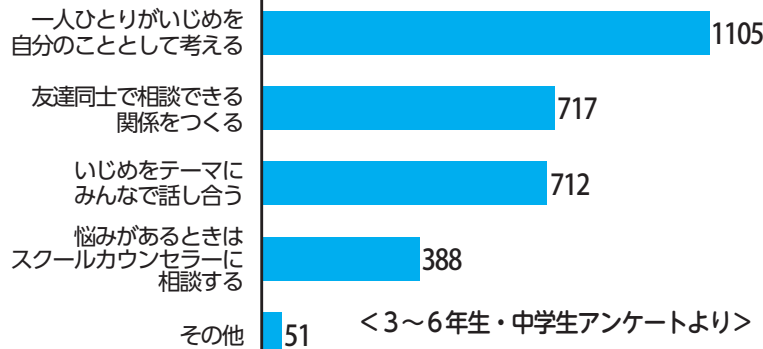
- ☐ 衣服の汚れや破れが見られたり、よくけがをしたりしている。
- ☐ 風呂に入りたがらなくなる。裸になるのを嫌がる。(殴られた傷跡やあざなどを見られるのを避けるため)
- ☐ 買い与えたものが紛失したり、壊されたり、落書きされたりしている。
- ☐ 家庭から品物やお金を持ち出したり、余分な金品を要求したりする。
- ☐ 食欲が無くなったり、体重が減少したりする。
- ☐ 寝付きが悪かったり、夜眠れなかったりする日が続く。
- ☐ 激しい口調の寝言や助けを求める寝言を言ったり、うなされることが多くなる。
- ☐ 表情が暗くなり、言葉数が減る。
- ☐ いらいらして反抗的になったり、急に口数が少なくなって元気がなくなる。
- ☐ 部屋に閉じこもりがちになり、ため息をついたり、考え事をしたりする。
- ☐ 言葉遣いが荒くなり、親や兄弟に反抗したり、ペットをいじめたり、物に八つ当たりする。
- ☐ 親から視線をそらしたり、家族から話しかけられることを嫌がったりする。
- ☐ 刃物など、危険な物を隠し持つようになる。
- ☐ 登校時刻になると、頭痛・腹痛・吐き気などの身体の不調を訴え、登校を渋る。
- ☐ 学校を早退したり、用事もないのに帰宅時間が早くなったり遅くなったりする。
- ☐ 転校を口にしたり、学校をやめたいなどと言いつ出す。
- ☐ 親しい友人が来なくなり、見かけない者がよく訪ねて来る。
- ☐ 不審な電話や、嫌がらせの手紙・メールがくる。友人からの電話で急な外出が増える。
- ☐ 自己否定的な言動が見られ、死や非現実的なことに関心を持つ。
- ☐ 投げやりで集中力が無くなる。ささいなことでも決断できない。
- ☐ テレビゲームなどに熱中し、現実から逃避しようとする。
- ☐ 急に学習時間が減ったり、宿題や課題をしなくなったりする。
- ☐ 急に成績が下がる。



会議では、邑楽町の小中学生アンケート結果からどういうことがいえるか、気付いた点などを子どもたち同士で協議しました。

協議の中で問題視したのは、アンケートの「友人がいじめられていたらどうしますか」に「見て見ぬふりをする」と回答した子どもが3%いたという結果でした。この結果に対して、子どもたちから「勇気を持てるようにする」、「いじめのない雰囲気づくり、そしていじめがどういふものなのか継続して訴えていくことが大切なのではないか」との意見が出ました。

会議を見守っていた保護者の中には、「いじめは決して子どもたちだけの問題だけではなく、私たち大人にもすべきことはあるのではないか」との意見も出ました。



一人ひとりが真剣に考えることが重要です

【いじめをなくすにはどうしたらよいですか】

私は6月にフォーラムに、8月にサミットに参加してきました。フォーラムでは、いじめについて考え直すきっかけを与えてくれました。

私が不安に思ったことは、学校のアンケートで、いじめられている子に問題があると書いた子が何人かいたということです。そこで話を聞くと、意見に食い違いがあるようなので、お互いに歩み寄って話し合うことが必

要だと思いました。私がその場面にいたら、お互いの意見を聞こうと思います。

そして、自分の意見が言えない子のために、行きやすい相談室をつくったり、気軽に話せる相手になれたらいいなと思いました。

8月のサミットでは、各地域の代表が集まり、いじめ防止宣言を決めました。代表の話し合いは、とても活発でいじめにつ

いて真剣に考え、たくさんの意見が出ました。私も司会をやるなどして積極的に取り組みました。代表たちの話し合いで、「勇気」「思いやり」「協力」に決まりました。

「勇気」とは、困っている人がいたら、すぐに話しかける。「思いやり」とは、お互いを大切にし、相手を思いやること。「協力」とは、周りの人とうい関係をづくり、何事にも全員で取り組むことです。

以上のことを実行し、笑顔あふれた学校生活のために自分から行動を起こしていこうと強く思いました。

「勇気」「思いやり」「協力」でいじめのない笑顔あふれた学校生活にしたい



長柄小学校6年 久保田 彩美さん

▶久保田さんは、6月28日に行われた「いじめ防止フォーラム」、8月18日の「いじめ防止サミット」にも邑楽・館林地区の代表の一人として参加。今回の「いじめ防止子ども会議」では、フォーラムとサミットでの活動が、どのようなものだったのか、参加者の前で報告しました。

真剣に取り組む子どもたちの姿に感動しました



太田女子高校2年 齊藤ららさん

私はフォーラムとサミットにも参加しました。今回いじめ防止子ども会議の司会を務め、思った以上に子どもたちから活発な意見が出たと感じたのと、小中学生一人ひとりが、真剣に取り組んでいる姿を見て感動しました。

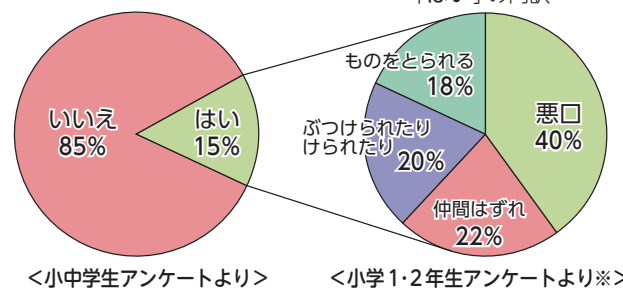
身近にあるいじめを全力を挙げて防止したいです



太田女子高校2年 関谷美咲さん

一人ひとりの考え方ひとつで、いじめは防げると思います。行動することが大切です。今回、この会議に参加させてもらい、自分自身も本当に勉強になりました。身近にあるいじめを全力を挙げて、防止したいと思います。

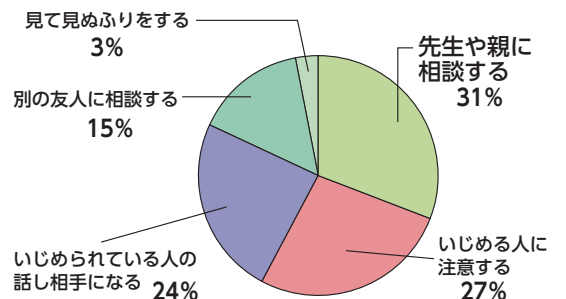
【いじめられたことがありますか】



※アンケートは群馬県共通（小学校1・2年生用、3・4年生用、中学生用）で5月に実施。「はい」と回答した児童生徒は町全体で15%、1・2年生も15%でした。「はい」の内訳の項目については3～6年生と中学生用は別選択肢のため、1・2年生のみの回答を掲載しました。

いじめの新定義▶いじめとは、「当該児童生徒が一定の人間関係のある者から心理的・物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの（起こった場所は学校の内外を問わない）。つまり、やられた人が「嫌だ」「いじめられた」と思えばいじめと考える。

【友人がいじめられていたらどうしますか】



いじめの新定義に基づいた

町内小中学生「いじめ」アンケート結果